



八百津町

報道発表資料

平成29年7月25日（火）美濃加茂記者クラブ配付資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
教育課	課長補佐	中嶋孝治	0574-43-0390 内線 2516

八百津町教育委員会

☆ 平成29年度第15回八百津町中学生海外派遣事業 ☆

『リトアニア・ポーランド研修』を実施します。

八百津町中学生海外派遣事業も今回で15回目を迎えます。この事業は、八百津町出身のイビザ(株)会長吉田茂様のご寄付により設立した、吉田茂国際交流基金により成り立っています。平成14年度からアメリカに派遣していましたが、杉原千畝氏の縁により、八百津町とリトアニアのカウナス市が友好都市となったことから、平成29年度から研修先がヨーロッパ（リトアニア・ポーランド）に変わります。また、参加学年についても、2年生を加え、2・3年生での海外派遣になります。

八百津町の中学生が、リトアニアの家庭生活及び学校生活を体験しながら国際交流を深め、幅広い視野と豊かな国際感覚を身につけるため、リトアニア第2の都市カウナスにてホームステイを行い、現地の学校と交流を行います。

また、アウシュビッツ強制収容所やリトアニア杉原千畝記念館等を見学することにより、杉原千畝氏の行った行為と偉大さを理解し、世界平和の大切さ、命の尊さを学ぶことを目的としています。

- ◇ 派遣期間 平成29年8月14日（月）～8月23日（水） 10日間
- ◇ 行程 裏面のとおり
- ◇ 対象者及び人員 中学2・3年生 20人

- ▶ 事前研修 平成29年7月24日（月）～7月27日（木）

派遣に際し、次の日程で結団式を実施します。

- 開催日時 平成29年8月9日（水） 午後7時より
- 開催場所 ファミリーセンター 大研修室

内容に関する問い合わせ先
八百津町教育委員会 課長補佐 中嶋
電話 0574-43-2111 (内線 2516)

発信担当 八百津町役場総務課広報行政係 担当：船戸

電話 0574-43-2111 (内線 2215、2216) kouhou@town.yaotsu.lg.jp

1. 研修先概要

8月14日、ファミリーセンターでの出発式の後、バスで中部国際空港へ向かいます。利用する航空会社はフィンランド航空で、約10時間、ヘルシンキに到着し、乗り換え。その後、リトアニアのカウナスへ向かいます。カウナスへは同日18時ごろに到着の予定となります。

カウナスの街

カウナス市人口32万人、リトアニア第2の都市ですが、重要な点は、第二次世界大戦をまたぐ1919年～1939年までの20年間、臨時首都として機能していたという点です。その20年間でカウナスは大きな発展を遂げ、今のカウナスの文化を創り出しました。

街は、旧市街と新市街に分かれており、そのコントラストが織りなす町並みは美しいたたずまいを擁しています。その旧市街は北に流れるネリス川と南に流れるネムナス川の合流地点となっており、13世紀初頭よりその恩恵を受けて生まれた歴史溢れる地区となっています。

それとは対照的に、新市街は1900年以降に様々な隣国から侵略を受け、その時代に持ち込まれた様々な様式で建てられた建造物が残る特色ある地域となっています。この新市街は、ユネスコの世界遺産暫定リストに登録されたばかりです。

このように、カウナス市は古い歴史と他に類を見ない芸術文化を育んだ背景を大切にしながら、大変特色ある街作りを行っています。

アレクソータス地区は、カウナス旧市街から車で10分ほど、小高い丘の上にある地区です。この地区では、国際交流に重きを置き、すでに様々な国との交流活動を行っています。ただアジア諸国との交流はまだ少なく、今回の八百津町の研修は、初の大きなプログラムとなります。すでに、ワークショップで折り紙や浴衣など体験しており、日本文化に対する関心の高さがうかがえ、皆さん大変興味を持って好意的にとらえていただいているようです。

ホームステイ体験

14日夜から18日朝まで4泊のホームステイを体験します。ホームステイ先は、このアレクソータス地区のカウナス・ユルギス・ドブケヴィチュウス・プロギムナジウム（カウナスJDP）の生徒さんのご家族が引き受けてくださいます。この4日間では、学校の生徒さんたちと一緒に、カウナスの観光名所を巡ったり、普段子供たちが遊びに出かける郊外の施設を訪問したり、毎日楽しい活動が盛りだくさんです。コミュニケーションを図る言語は主に英語になります。ここでは、杉原千畝をはじめとする第2次世界大戦前後の歴史を学んだり、豊かな自然の中でリトアニアの文化を学んだり、リトアニ

アの食事を楽しんだり、と、リトアニアの子供たちの日常を体験します。
このホームステイ体験期間中は、カウナス市、アレクソータス地区区長、JDP 学校長から多くのご好意やご支援を受けて行われる予定となっております。

首都ヴィルニウス

ヴィルニウスでは、半日、主要な観光名所に加え、杉原千畝の功績をたたえる、スギハラ通りや杉原記念公園などを訪れます。そしてポーランド、ワルシャワへ向かいます。

ワルシャワ

首都ワルシャワは、ピアニストのショパンの故郷として世界的にも有名な文化都市です。その町並みは、1944年 WW2 末期にドイツの占領軍に対して市民が起こしたワルシャワ蜂起により、ほとんどの建物が崩壊しました。その後、市民の努力により「壁のひび一本に至るまで」完全なる復元を果たした、といわれる特徴ある歴史を持つ都市です。

世界遺産となっている歴史地区

大統領官邸

ショパン博物館

クラクフ

ポーランド南部にある人口 75 万第 3 の都市だがポーランドで最も歴史ある都市として多くの観光客を集めています。17 世紀初頭にワルシャワに遷都するまでポーランド王国の首都でした。また、その歴史的背景上、ポーランドで最も多くのユダヤ人が在住していた街としても有名で、カジメシュ地区というユダヤ人街があります。オブヴァジヤーネック（一度ゆでてから焼いたパン）というユダヤのパンが売っており、ベーグルやブレッツェルの原型とされています。

その町並みは WW2 で大きな被害を受けなかったため、旧市街には多くの歴史的建造物が残っており、街全体が世界遺産に登録されています。

旧王宮ヴァヴェル城

広場に面する 聖マリア教会、織物会館

アウシュヴィッツ・ビルケナウ強制収容所

誰もがご存じのことと存じますが、ナチスドイツが第二次世界大戦中に国家をあげて推進した人種差別による絶滅政策（ホロコースト）、および強制労働により 150 万人以上の犠牲者を生み出し、その 90% がユダヤ人であったと言われ、負の遺産と言われています。このような未曾有の歴史を二度と繰り返さないようにと 1979 年、世界遺産に

登録されました。

現在は、世界中からの観光客が集まる一大名所となっています。

この収容所では、訪れた人に間違った歴史を伝えることのないよう、ポーランドの国家試験に合格した人だけがガイドを務めることができます。そこに唯一 1 名の日本人ガイドがいらっしゃいます。八百津町では、杉原千畝記念館のネットワークにより、この日本人ガイドをお願いする予定です。この収容所を生で見るだけでも、多くのことを学び感じることができるでしょうが、日本人ガイドから直接話を聞くことで、さらにより深い理解、そして日本人としての立場からのアドバイスなど付加価値の高い学習機会を得られることを期待しています。

ヴィエリチカ岩塩坑

1044 年創業の世界最古の岩塩坑、たくさんの環境客が訪れる人気のスポットで、地元の子供たちにも大人気のレジャー施設です。地下 3、5 m の坑道やホールに歴史上や神話上のモチーフを象った見事な彫刻がほどこされ、まるでタイムスリップしたかのような世界が広がっています。

シンドラー博物館

オスカー・シンドラーは WW2 中、ユダヤ人が収容所に送られることのないよう自身のほうろう工場に彼らをかきまい 1200 人以上の命を救ったことで有名です。ステイブンスピルバーグ監督の映画「シンドラーのリスト」のシーンでも使われた工場跡を利用して作られた博物館です。この博物館では、ユダヤ人が迫害を受ける前の平穏な暮らしから、時代に苛まれホロコーストに巻き込まれていく様子を時代背景と共に紹介しています。映像や音声などテクノロジーを使用した近代的な施設で、子供たちもわかりやすく学習してもらえる設備が整っています。